



信用金庫の常勤役職員数の動向（28年度末）

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

- 信用金庫の平成28年度末の常勤役職員数は、前期比0.7%減少の10万9,587人となり、6年連続で前期を下回った。
- 18年度末との比較では2.4%の減少であった。内訳をみると、男子職員が12.9%減少した一方で、女子職員は23.0%の増加となる。
- 28年度末の地区別の常勤役職員数は、全11地区で前期比減少した。18年度末からの変化では北陸、東北、南九州の3地区が2桁の減少率となった。
- 18年度末から28年度末までの信用金庫別の常勤役職員増減状況は、93金庫で増加した一方、165金庫で減少した。増加金庫のうち20%以上の増加は10金庫ある。
- また男子職員と女子職員の増減状況をみると、①男子職員・女子職員ともに増加が22金庫、②男子職員減・女子職員増が191金庫、③男子職員・女子職員ともに減少は42金庫あった。
- 28年度末の1金庫あたりの常勤役職員数は、①99人以下が25金庫、②100～299人が122金庫、③300～499人が50金庫、④500～999人が44金庫、⑤1,000人以上は23金庫あった。

1. 信用金庫の常勤役職員数の状況

(1) 常勤役職員数の推移

信用金庫の平成28年度末の常勤役職員数は、前期比0.7%、841人減の10万9,587人となり、6年連続で前期を下回ると同時に、11万人の大口を割った（図表1）。

(2) 内訳の変化

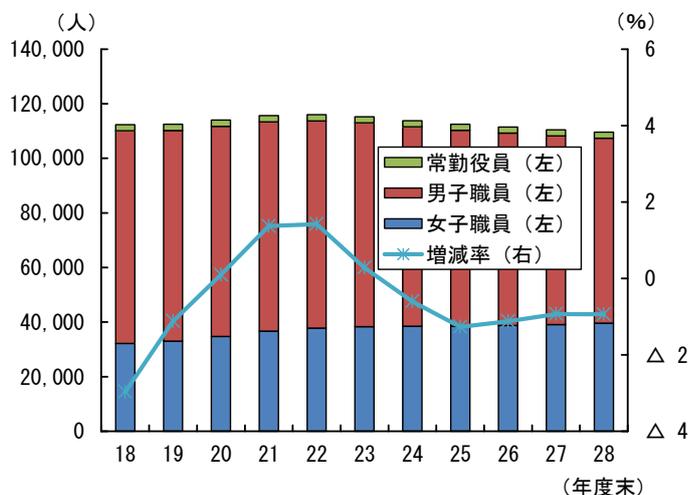
28年度末の常勤役職員の内訳は、①常勤役員が前期比0.4%増の2,204人、②男子職員が1.9%減の6万7,808人、③女子職員は1.1%増の3万9,575人となった（図表2）。男子職員

は、採用難に加えベテランの退職増などから、21年連続で前期比減少した。一方、女子職員は近年の活躍拡大策もあり、11年連続で前期を上回っている。

2. 地区別の状況

28年度末の地区別の常勤役職員数は、全11地区で前期比減少した（図表3）。北陸が前期比2.4%減（85人減）となったほか、中国の2.2%減（138人減）、東北の1.8%減（94人減）が続いた。

（図表1）常勤役職員数の推移



（備考）本稿では、他業態との合併等は考慮していない。

（図表2）常勤役職員の内訳

(単位：人、%)

	18年度末	27年度末	28年度末
常勤役員	2,292	2,195	2,204
(構成比)	2.0	1.9	2.0
男子職員	77,908	69,126	67,808
(構成比)	69.3	62.5	61.8
女子職員	32,165	39,107	39,575
(構成比)	28.6	35.4	36.1
合計	112,365	110,428	109,587

18年度末と比較すると、東海と近畿の2地区で増加し、他の9地区で減少した。減少した地区では、北陸（18.0%減）、東北（14.7%減）、南九州（12.7%減）が2桁の減少を示した。

なお、地区別の1金庫あたり常勤役職員数をみると、東京の801.2人から東北の189.6人まで開きがある。

3. 信用金庫別の状況

(1) 18年度末との比較

18年度末から28年度末までの信用金庫別の常勤役職員数増減状況は、①増加が93金庫（構成比35.2%）、②増減なしが6金庫（2.2%）、③減少は165金庫（62.5%）となった。

増加した信用金庫のうち20%以上の増加は10金庫（3.7%）ある。一方、20%以上の減少は20金庫（7.5%）となる。

男子職員と女子職員の増減状況は、①男子職員・女子職員ともに増加が22金庫（構成比

8.3%）、②男子職員減・女子職員増が191金庫（72.3%）、③男子職員・女子職員ともに減少は42金庫（15.9%）となった（図表4）。

(2) 1金庫あたり常勤役職員数

28年度末の信用金庫の平均常勤役職員数は415.1人であった。

28年度末の1金庫あたりの常勤役職員数は、①99人以下が25金庫（構成比9.4%）、②100～299人が122金庫（46.2%）、③300～499人が50金庫（18.9%）、④500～999人44金庫（16.6%）、⑤1,000人以上は23金庫（8.7%）であった（図表5）。

18年度末の構成比と比較すると、200人以下が37.2%（107金庫）から35.2%（93金庫）となる一方で、500人以上は24.3%（70金庫）から25.3%（67金庫）となっている。1,000人以上についてみると、20金庫から23金庫に増加した。

以上

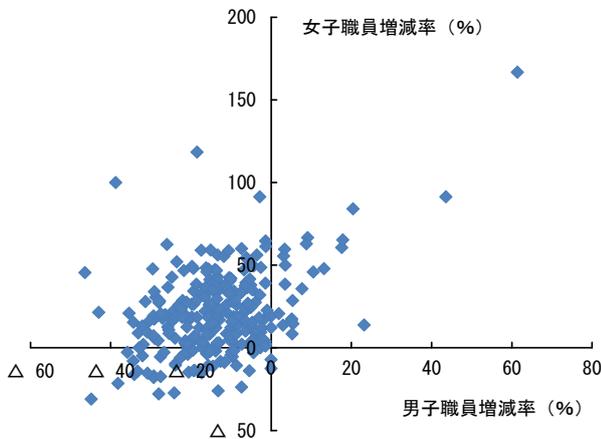
(図表3) 地区別の常勤役職員数

(単位：人、%、億円)

地区	18年度末	27年度末	28年度末	18年度末対比		27年度末対比		男子職員	女子職員	1金庫あたり 人数
				増減率	増減数	増減率	増減数			
北海道	5,166	4,879	4,845	△6.2	△321	△0.6	△34	2,919	1,757	220.2
東北	6,006	5,214	5,120	△14.7	△886	△1.8	△94	3,051	1,876	189.6
東京	18,949	18,627	18,428	△2.7	△521	△1.0	△199	11,930	6,277	801.2
関東	21,651	21,599	21,507	△0.6	△144	△0.4	△92	13,413	7,686	438.9
北陸	4,077	3,425	3,340	△18.0	△737	△2.4	△85	1,959	1,270	208.7
東海	21,421	22,037	22,034	2.8	613	△0.0	△3	13,436	8,225	579.8
近畿	19,857	20,364	20,232	1.8	375	△0.6	△132	12,434	7,487	697.6
中国	6,393	6,048	5,910	△7.5	△483	△2.2	△138	3,673	2,089	281.4
四国	2,216	2,128	2,111	△4.7	△105	△0.7	△17	1,248	795	211.1
九州北部	2,616	2,528	2,494	△4.6	△122	△1.3	△34	1,489	917	191.8
南九州	3,807	3,337	3,323	△12.7	△484	△0.4	△14	2,103	1,113	221.5
合計	112,365	110,428	109,587	△2.4	△2,778	△0.7	△841	67,808	39,575	415.1

(備考) 沖縄県は合計に含む。

(図表4) 信用金庫別の男子職員と女子職員数の関係（18→28年度中）



(備考) 増減なしを除く。

(図表5) 1金庫あたりの常勤役職員数の変化

